4月12日 県知事選

日本共産党は

無党派 弁護士 後藤とみかず さんとともに

県民の声が届く県政にきりかえます

後藤富和(ごとうとみかず)　1968年生まれ、46歳。福岡大学法学部卒、2002年弁護士登録。現在、日本弁護士連合会公害対策環境保全委員会委員、福岡県弁護士会公害環境委員会委員長、全国公害弁護団連絡会事務局次長、環境法律家連盟理事。九州電力玄海原発の操業差し止め訴訟、諫早湾開門などを求める「よみがえれ！有明訴訟」、中国人強制連行・強制労働事件、朝鮮学校無償化訴訟、産廃訴訟などの弁護団。福岡市中央区9条の会事務局長。

4月の知事選に、「後藤とみかずとみんなで創る笑顔の福岡県の会」の後藤とみかずさん（無党派、環境派弁護士）が立候補を決意されました。日本共産党は、後藤とみかずさんを支持し、県民の声が届く新しい福岡県政を実現するために全力をあげます。

「子どもに残す笑顔の未来」

- 中学3年生まで医療費ゼロ
- ブラック企業をなくします
- 国民健康保険料 1世帯1万円引き下げ

- 公立学校のすべてに空調設置

全国9位の財政規模 年2兆3000億円の県予算の使い方を切り替えます

- 環境の保全に本気で取り組みます
- 若者・女性・地域県議会を開催します　小さな声に耳を傾けて

- 集団的自衛権を認めません
- 原発再稼働を認めません
  地産地消の小規模再生エネルギーを推進
- 消費税増税に反対します
- 農業の破壊につながるTPPは認めません

今の福岡県は…

✓介護・後期医療 負担額いちばん重い

介護保険＋後期高齢者		
順位	介護＋後期（円）	
1	福岡県	119,054
2	沖縄県	118,456
3	大阪府	116,700
4	高知県	113,256
5	徳島県	112,648

厚生労働省「第4期介護保険料について」「後期医療平成22年度及び23年度の保険料率」から引用(単位・円)

✓国保証とりあげ 全国最悪

高すぎる国民健康保険料の滞納世帯が17%にも。引き下げこそ必要ですが、情け容赦なく8万7000世帯から保険証をとりあげる冷たさは異常です。

①福岡県	11.1%
②茨城県	10.5%
③熊本県	10.5%
④高知県	10.0%
⑤鹿児島県	9.8%

※平成25年6月1日現在、滞納世帯数に対する短期証・資格証の割合。厚生労働省「国民健康保険の財政状況」より

✓教育予算（県民一人あたり） 全国ワースト5位

（47都道府県中43位）

✓「ワーキングプア」が急増

- ◆完全失業率　ワースト2位
- ◆正社員の求人　2人に1人
- ◆非正規雇用　4割（全国ワースト5位）
- ◆民間労働者の平均給与200万円以下　3人に1人

✓巨大開発のムダづかい

不要なダムに毎年150億円をつぎ込み、こんどは破たんした第2関門橋の焼き直し＝「下関・北九州道路」計画（1500億円）を進めようとしています。

県知事選の大争点　2つの流れの対決です

1 安倍政権に言いなりの人か
暴走にきっぱり「ノー」と言う人か

2 福祉・教育に冷たい現県政の継続か
県民とともにつくる新しい県政か

消費税増税、若者を戦場にかりだす集団的自衛権行使、原発再稼働、年金切り下げや医療・介護・雇用の大改悪など安倍政権の悪政が暮らしと平和をおびやかしています。こういう時だからこそ県民を守る防波堤の役割をはたす県政が必要です。

ところが、今の県政は国の冷たい政治に輪をかけて冷たさを倍増させています。**後藤とみかず**さんといっしょに、県民本位の県政へ変えましょう。

福岡民報　後藤とみかずさんの政策と日本共産党の見解を紹介します。●2015年3月号外●発行：福岡民報社
1964年12月9日第三種郵便物認可●〒810-0022福岡市中央区薬院3-13-12大場ビル3階

ご意見・ご感想をお寄せください ☎092(411)5131

県議会議員選挙 4月12日

共産党県議がいるといないとでは大ちがい

県議会に日本共産党の議員がいるといないとでは、住民要求の実現でも、ムダのチェックでも、天と地の差が生まれます。共産党県議がいた 2011 年までと、いなくなったこの４年間の驚くべき違いをごらんください。

前 共産党がいたときは

２兆円の浪費ストップさせる

新福岡空港建設計画

２兆円規模にもなった前知事と「オール与党」が推進した新福岡空港（新宮沖移転）計画について、共産党は需要予測のデタラメ、費用対効果試算のずさんさを暴き、世論と結んで断念させました。

少人数学級が前にすすむ

かたくなに 40 人学級にこだわっていた県教育委員会に、市町村が少人数学級を導入することを認めさせました。県民運動と議会質問で、医療費助成も就学前まで広げました。

県議1人100万円の海外「視察」予算廃止

政務調査費に領収書の添付を義務づけ、１泊３万 8400 円もの出張旅費を減額。県議全員を対象に予算化されていた１人 100 万円の海外「視察」費も廃止させるなど議会改革が前進しました。

今 自民・公明・民主の「オール与党」独占議会になって

県民27万人分の署名“門前ばらい”

30 人学級の実現と私学助成の拡充を求める請願署名 27 万筆などが、誰も紹介議員にならず、“門前払い”に。県民の声が県政に届かなくなっています。

知事提案に100%賛成 反対は1件もなし

前回の県議選（2011 年）で共産党の議席がゼロになり、県議会は知事の提案する議案に100%賛成。文字通り「なんでも賛成」、ただの追認機関になってしまいました。

公金で家族・親族を事務職員に雇用!?

2011 年４月に日本共産党県議が空白になってから、県議会は政務活動費の使途を大幅に緩和（2012 年）。「陳情」での会食、領収書の支出先の「黒塗り」、県議事務所での「親族の雇用」を認め、マスコミからも「お手盛り」との批判が相次いでいます。

県政で 日本共産党を大きくして下さい

日本共産党は、参院選・衆院選で躍進。議案提案権を使って「ブラック企業」規制法案を出しました。国が動き、4189 か所を調査・是正指導するなど、対策が前進しました。新しい国会でも政党助成法廃止法案を出しました。

原発再稼働・消費税アップ…

自民・公明・民主に県議会の議席を独占させていいのでしょうか!?

安倍政権がすすめる消費税増税や社会保障改悪は、もともと民主党政権時代に３党合意で道を開いたもの。大飯原発の再稼働をしたのも民主党政権でした。

国の悪政から県民のくらしを守るのが県政・県議会の役割。国の悪政を押しつける自民・公明・民主の３党に県議会の議席を独占させていいのでしょうか。

日本共産党 県議予定候補

北九州市門司区（2）
いちのせ 小夜子

北九州市小倉北区（3）
中村 くんぱち

北九州市小倉南区（3）
たかせ 菜穂子

北九州市若松区（2）
山口 りつ子

北九州市八幡西区（4）
いとう 淳一

北九州市戸畑区（1）
水上 建二郎

福岡市東区（4）
立川ゆみ

福岡市博多区（3）
渡辺コウ

福岡市城南区（2）
中島 ひでき

福岡市早良区（3）
山内 えみ子

大牟田市（2）
中西 みちと